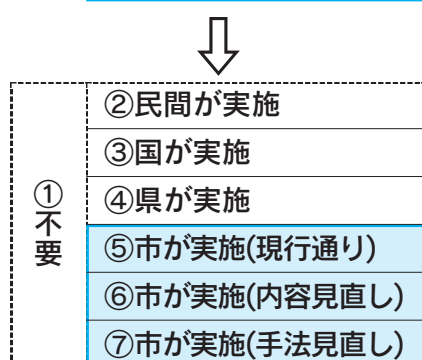
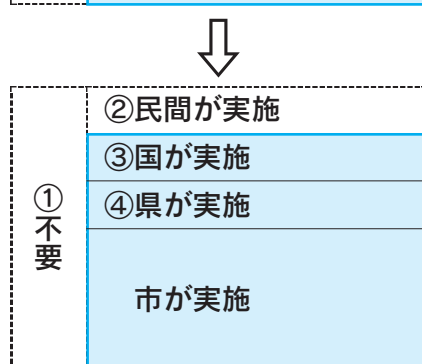
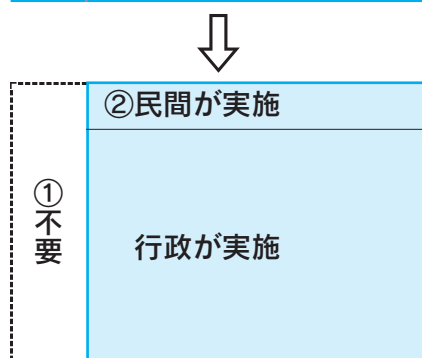
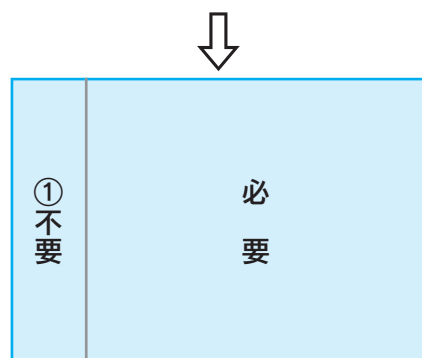


※②：事業仕分けの流れ(※青字は昨年の実績)



■市の事業
対象：101事業



■そもそも必要？
* 不要の理由
趣旨や目的に妥当性
なし、効果なし
不要: 3事業

■民間？行政？
* 民間の理由
行政の役割終了、民間の方が効率的
民間化: 3事業

■国・県？市？
* 国・県の理由
行政機関内の役割分担
国実施: なし
県実施: 1事業

■中身のチェック
* 内容の確認
現行通り実施、内容の改善など
現行通り: 26事業
内容見直し: 47.5事業
手法見直し: 20.5事業

に対応した行政サービスを、より効果的・効率的に提供していく必要があります。
そのために事業仕分けを実施することで、「その事業は必要なのか」「どんな目的で行われているのか」「もっと効果的な方法はないのか」など、一度原点に立ち戻って、「限りある財源を、優先順位をつけて、何に使うか」ということをみなさんと一緒に考えていきます。

実施方法は？

初めに、市職員が、市民や有識者などで構成される仕分け委員に対し、事務や事業の内容を説明します。仕分け委員は、「そもそもその事業は必要なのか・誰が担うべきなのか」という視点に立ち、「ニーズに合っているか」「ムダはないか」「やり方の見直しができないか」などについて議論します。議論後、仕分け委員がその事務事業について「廃止すべき」「民間に任せるべき」「手法を見直すべき」といった評価を行います。(※②)

結果はどう反映されるの？

事業仕分けによる評価結果に基づき、平成21年度の予算措置や職員配置等に反映させます。

単位：件・千円

	事業数	構成比	平成20年度 予算反映額
①不要	3	3.0%	▲ 2,566
②民間化	3	3.0%	▲ 1,084
③国実施	0	0.0%	0
④県実施	1	1.0%	0
⑤市実施(現行通り)	26	25.7%	▲ 17,209
⑥市実施(内容見直し)	47.5	47.0%	▲ 90,241
⑦市実施(手法見直し)	20.5	20.3%	▲ 37,632
計	101		▲ 148,732

■昨年度の事業仕分け結果・平成20年度予算への反映状況

市役所の仕事を 外部の視点 から 見直す 「事業仕分け」を実施します！

と き：9月23日(祝)
9時30分～17時

ところ：市役所東別館6階
第7～10会議室



事業仕分けは自由に傍聴していただけます

※事前の申込みなどは必要ありません。入退室も自由ですので、ご都合の良い時間にお越しください。

■お問合せは、総務課人事行革グループ(☎⑥6502・FAX⑥4111)へ。
e-mail:jinji-gyokaku@city.nagahama.shiga.jp

※①：今年事業仕分けを行う主な事業
*その他の事業は、確定次第市のホームページでお知らせします。

事業名	担当課
防災訓練	総務課
放置自転車対策	市民協働課
公民館管理運営事業	生涯学習スポーツ課
環境保全対策事業	環境保全課
ファミリーサポートセンター運営事業	子育て支援課
観光の交通対策	観光振興課
都市緑化推進事業	都市計画課
道路維持修繕事業	道路河川課
受益者負担金徴収事務	上下水道課
長浜城歴史博物館管理運営事業	長浜城歴史博物館

事業仕分けとは？

「事業仕分け」とは、市が行っている行政サービスについて、市民や有識者が、事業そのものの必要性や実施主体、実施手法などを議論・評価し、事業のあり方を根本から見直していくことです。

事業仕分けは、行政改革の取り組みの一つとして全国の自治体で注目されており、既に30以上の自治体で実施されています。

県内では、今年度、大津市、守山市、湖南市でも実施される予定です。

市では、昨年に引き続き、約30事業(※①)を抽出して実施します。事業仕分けは、公開で行いますので、みなさんに行政サービスの状態をお知らせし、そのあり方について考えていただく機会にもなります。ぜひ傍聴してください。

仕分けを行う必要性

市の財政はとも厳しい状況にあり、一般財源については、平成22年度までの4年間で約24億円の不足が見込まれ、毎年6億円の収支改善が必要状況です。

また、今年度の一般会計歳入予算では、財源不足を補うため、基金市の貯蓄から6億5千万円取り崩すことを余儀なくされています。

今までと同じ方法・内容でみなさんに行政サービスを提供していくことは難しく、これからは、市民ニーズや時代の変化